

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日:2022 年 2 月 15 日(火)18:30~18:50

場 所 :新橋駅前ビル 1 号館 6 階 605 号ダ・ヴィンチ大会議室 + Zoom ミーティング

出席者:

理事: 飯島、庄野、加藤、安藤、黒岩、臼田、荒嶋、五十嵐、尾山、三輪、
坂口、鈴木、才藤、(Zoom 参加) 吉田、高木、石原

監 事: 最川

顧 問: 児玉

(敬称略)

庄野理事の進行により新橋の会議場と Zoom ミーティングの併用によるハイブリット会議を実施。開始時点で参加人数(理事の出席 14 名) が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長から就任 1 年を振り返った挨拶があり、議事録作成人に加藤理事、議事録署名人に臼田理事を指名して、下記議案を審議した。

<審議事項>

1. 総会資料・決算修正の確認について

坂口事務局長から 1 月の理事会で行われた修正部分を含め総会で発表することが報告された。

2. その他

JSAF 名誉会長 河野博文のお別れ会に、当クラブとして会費 10,000 円を振り込み、代表して飯島会長が出席することを報告、承認された。

<報告事項>

1. 外洋団体長会議について

・才藤副会長より、外洋団体長会議で話し合われた以下の要点の報告があった。

JSAF 外洋系 2023 年の活動方針は 3 点。

(1)外洋レースの復興

(2)セールナンバーの普及

(3)ヨットクラブ・泊地のグループと連携しながらレースを盛り上げていきたい。

また、加盟団体規則を変更して選挙理事を現在の 11 名から 10 名に、水域理事を現在の 13 名から 14 名に変更、男女比率を少なくとも女性理事が 40%以上になるように要請があった。

- ・ 個別案件として、外洋常任委員会からオリンピック種目の中に新設される可能性が高い外洋ダブルハンドレースを普及させたい。そのため、各団体の主催レースにダブルハンドクラスを設けて欲しいとの要請があった。
- ・ 会員サービスとして BAN システム（故障時の曳航などを請け負う海の JAF 的な機関）の入会金の半額を JSAF が負担し、正規のセールナンバーを登録している艇は 2,000 円分の特典がつく施策を実施するとの報告があった。
- ・ 小笠原レースは開催する方向で進めている。
- ・ 計測委員会から、2024 年から IRC 一本にするとする話があるがとの質問を受けて「現在はそのような事実はなく、今まで通り IRC、ORC 両方とも認める」と明言されたと報告があった。それを受けて 1 月の理事会で議論された、当クラブとして ORC 廃止についての意見書を提出することを見送ることが確認された。また荒嶋レース委員長よりレース開催のアンケート結果の補足説明があり、23 団体から IRC/ORC のデュアルスコアリングを使用してレースを実施しているのは約 6 割との報告があった。

2. 合同委員会安全

高木理事より、メールで報告した通りで補足はないと報告があった。

3. 合同委員会レース

荒嶋理事より、メールで報告した他は JSAF からのアンケート結果の発表が行われたと報告があった。

4. 合同委員会計測

鈴木理事より、メールで報告した通りで補足はないと報告があった。

5. ルール委員会

五十嵐理事より、セールナンバーの色に関して、黒いセールに視認し難い黒や赤系のナンバーを使っている艇がまだあり、警告をするか検討中であることの報告があった。また三輪理事より、ルール委員会が作ったレース公示のヒナ型を、主催レースの公示作成の際に使用して欲しいと要請があったと報告された。

6. 小笠原レースについて

飯島会長より、まだ具体的な依頼はないが、JSAF からの正式な依頼が来しだい、外洋三崎と歩調を合わせて、協力することを報告確認された。

以上で本日の議事をすべて終了し、18 時 50 分に総会前理事会を閉会した。

以上

2023 年 月 日

議事録署名人